

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	30年度取組											
1	4	庁舎管理事務	光熱水費、維持管理費用等の軽減を図るための検討が必要である。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	総務部	総務文書課	市役所及びりんご庁舎を維持管理するための光熱水費や通信運搬費、事務機器等の借上料などの支出事務や、施設や設備の保守点検業務などを行いました。	庁舎管理	○		×	×	×	—	×	—	○
	対象:	市役所本庁舎、りんご庁舎		庁舎管理		○	×	×	×	—	×	—	
	意図:	本庁舎、りんご庁舎の適正な管理		庁舎管理			×	×	—	×	×	×	
				廃棄物置場管理	○		○	—	—	—	—	—	○
4	9	車両管理事務	公用車の適正な整備点検の実施と、経年劣化により老朽化した車両の更新を行います。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	総務部	総務文書課	公用車の適正な整備点検の実施と、経年劣化により老朽化した車両(ハイブリッド車、ワゴン車、軽貨物車2台)の更新を行いました。	自動車関係廃棄物の発生	○		×	×	—	—	×	—	
	対象:	庁用車及び総務文書課共有管理車両		燃料の消費	○		×	×	—	×	×	—	○
	意図:	良好な状態を維持します。		エコカー購入	○		○	—	○	—	○	—	
				洗車場の排水		○	×	×	—	—	×	—	
8	35	人事管理事務	スリムで効率的な行政運営を行うため、引き続き適正な人事管理を実施していく必要があります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	総務部	人事課	また、国や県、他の地方公共団体の給与と勤務時間等の勤務条件の見直しの動向を踏まえ、適正な人事制度を実現していくとともに、正確かつ迅速な給与支給が求められます。	ノーマイカー通勤による燃料消費抑制	○		○	○	○	○	○	○	○
	対象:	職員	社会人としての実務経験を有する者を即戦力として生かすための社会人選考を引続き実施しました。										
	意図:	適正な人事管理、正確かつ迅速な給与管理の実施	多様な人材が採用試験にチャレンジできるよう従来の教養試験と適性検査から総合型適性検査(SPI試験)に切替え、全国にあるテストセンターでの受験を可能にしました。										
			人物をより重視するために試験申込み時の面接を追加するとともに、受験生に配慮し東京会場を設けました。法令、条例等に基づいた適正な給与支給や人事管理を行うため、人事給与システムの適切な運用及び管理を行いました。										
67	120	公立保育所運営事業	保護者が家庭でのしつけを学ぶ上で有効な情報や地域との連携の必要性を伝える必要があります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	健康福祉部	子育て支援課	職種により有資格者の職員確保が困難な状況であり、職員募集情報や飯田市保育行政の情報発信などに努めていく必要	保育料滞納整理事務(文書催告等)	○		—	×	×	—	×	—	
	対象:	公立保育所(16園)、以上児の家庭数	子どもの通う保育所で保護者が保育の体験をし、園での生活やその活動を直接見聞する一日保育体験を実施しました。	保育料滞納整理事務(口座振替促進等)	○		—	×	×	—	×	—	
	意図:	就学までの基本的な生活や集団生活ができる保育を実施	園児は生活習慣及び社会性を習得するために地域活動事業を通して地域住民との交流体験をしました。健全な保育所運営を行うために必要なパート職員の確保及び代替職員の配置を行いました。	一日保育体験の実施(保護者)	○		○	○	○	○	○	○	○
			食育への取り組みとして地元で採れた野菜を給食の食材とする日を年数回実施しました。上村保育園児の確保に向け自然保育を基調とした取組を強化し、子育て世帯の移住・定住を推進しました。	地元食材の日を実施	○		○	○	○	○	○	○	○
80	86	飯田荘施設整備事業	第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画による建替えであり、現在の建物の取り壊し撤去を含めて、平成31年3月末を施設整備事業の終了予定とします。	新設建物による周囲の日照への影響	○		—	—	—	—	—	×	
	健康福祉部	長寿支援課		新設建物による周囲の景観への影響	○		—	—	—	—	—	×	○
	対象:	公設民営の特別養護老人ホーム(飯田荘)		敷地造成による周囲の路盤への影響	○		×	—	—	—	—	—	○
	意図:	公設民営の特別養護老人ホーム飯田荘の建替え	第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画による特別養護老人ホーム飯田荘の建替えを行いました。	建設・解体工事に伴う粉じんの発生	○		×	—	—	—	—	×	○
				建設・解体工事に伴う騒音の発生	○		×	—	—	—	—	×	○
157	161	3R推進事業	生活や事業活動の中に3Rが習慣化することを目指し、発生抑制や再使用にしっかり取り組みながら、資源ごみの適正な分別と排出の徹底を図る必要があります。	建設・解体工事に伴う振動の発生	○		×	—	—	—	—	—	○
	市民協働環境部	環境課	★景観上、好ましくない状況が発生する可能性があります。	工事に伴う周辺道路の交通障害	○		—	—	—	—	—	×	
	対象:	市民	燃やすごみへの混入量が増えてしまった「容器包装プラスチック」を、再びリサイクルのルートへ誘導するため、平成29年9月にサイズを縮小した容器包装プラスチック用指定ごみ袋を、平成30年12月に従前の大サイズに復元。ごみ処理費用負担制度と併せ「プラ資源」としての排出が、経済面で優位であるように誘導策を講じました。	現施設解体工事に伴う廃棄物の発生	○		—	×	×	—	×	—	○
	意図:	リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の推進	3月に発行し全戸配布した「ごみリサイクルカレンダー」と「ごみ出しガイドブック」の中でも、この部分に重点を置いて啓発を行いました。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
				ごみの収集漏れ		○	—	—	—	—	—	×	○

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	30年度取組											
158	162	地域環境美化推進事業	飯田市域内における不法投棄及びポイ捨て等の根絶を目指し、地域の環境美化に取り組み、ポイ捨て等をされにくい環境づくりを進める必要があります。 ★公衆衛生上、好ましくない状況が発生する可能性があります。 ★地域環境の美化が損なわれる可能性があります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	市民協働環境部	環境課		不法投棄・ポイ捨てによるごみの放置		○	○	—	—	○	—	—	○
	対象:	一般廃棄物	・環境美化指導員を配置し毎日パトロールを行いました。 ・各地区に不法投棄パトロール員を委嘱し巡視いただきました。 ・各地区に環境美化推進補助金を交付し、環境美化活動にご活用いただきました。 ・毎月市職員と環境美化指導員による夜間パトロールを実施し、重点地域の巡視活動と抑止活動を行いました。 ・飯田建設事務所等と共同で河川パトロールを実施。 ・春のごみゼロ運動は5月27日を中心に、秋のごみゼロは11月11日を中心に、全市各地区ごと実施しました。のべ31,834人御参加いただきました。										
	意図:	不法投棄とポイ捨て等の防止											
159	163	ごみ適正処理事業	ごみの適正な分別と排出を徹底していく必要があります。 着実な収集運搬と適正な処理の継続的な実施を行う必要があります。 ★長い時間放置されたごみから悪臭が発生する可能性があります。 ★景観、公衆衛生上、好ましくない状況が発生する可能性があります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	市民協働環境部	環境課		ごみの収集漏れ		○	×	—	—	—	—	×	○
	対象:	一般廃棄物	・ごみ集積所、リサイクルステーションを設置し、廃棄物、資源物の効率的な回収を行っています。 ・ごみの収集運搬は全て業者に委託していますが、連絡は密に行い、課題に対し迅速な対応ができる体制としています。 ・前年度内に各家庭に行き渡るよう、ごみリサイクルカレンダーを印刷し、配布しています。本年度は内容を大幅に見直し、加えてより詳細にごみ分別を著したごみ出しガイドブックを別に作成し、全戸に配布しました。 ・燃やすごみの中間処理先である稲葉クリーンセンター、そして埋立ての最終処分場、それぞれの施設とも情報を共有し、適正処分に努めています。										
	意図:	着実な収集運搬及び適正な処理											
164	152	環境モデル都市行動計画進行管理事業	地域環境権条例を活用した持続可能な地域づくりに関する市民周知が十分ではありません。また、FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)における太陽光発電の買取価格が下がり、経済的なメリットが低下し、電力事業を取り巻く制度も変化しつつあるため、より市民メリットを創出するためのやり方や条例認定における手続きの再検討が必要です。	第2次環境モデル都市行動計画改訂版の策定	○		—	—	○○	—	○	—	
	市民協働環境部	環境モデル都市推進課		環境モデル都市としての取り組みの情報発信	○		—	—	○	—	○	—	
	対象:	市民・事業者	1 地域環境権条例に基づいて支援する活用事業を審査するため、飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会を実施しました。 2 中部環境先進5市会議、環境首都創造フォーラム、環境自治体会議、イクレイ(持続可能性を目指す自治体協議会)等へ参加し、環境モデル都市として先進的取組みの水平展開を行いました。 3 環境政策を専用ホームページや視察等の受け入れを通じて全国に発信しました。 4 市域のCO2排出調査により進行管理を行いました。	地域公共再生可能エネルギー活用事業の創出	○		—	—	○○	—	○	—	○
	意図:	市民(地域団体)が、持続可能な地域づくりと温室効果ガスの削減のため、住民主体の再生可能エネルギー活用事業に取り組む											
165	153	おひさまのエネルギー利用推進事業	近年、固定価格買取制度での価格が低減していることから太陽光発電設備の新規設置者が減少しています。 平成21年11月に余剰電力の固定価格買取の対象となった太陽光発電設備は平成31年で10年間の買取期間が終了することや、東日本大震災や熊本地震の影響によりエネルギー自立化のニーズの高まりもある中、発電された電気を蓄電し、利用していくことも求められています。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	市民協働環境部	環境モデル都市推進課		太陽光発電システム設置補助	○		—	×	○○	—	○	—	○
	対象:	市民	地球温暖化防止に向けた取組として太陽エネルギー利用機器の設置補助を行い、太陽光発電設備188件、蓄電システム30件(太陽光発電設備と同時設置を含む)、太陽熱温水器24件の設置に対する補助金の交付を行いました。 メガソーラーいいたのPR施設に係る設備の維持管理を行い、太陽光発電の普及啓発に取り組みました。 地域の民間事業者との公民協働による太陽光発電事業を推進しました。	太陽熱温水器設置補助	○		—	—	○	—	○	—	
	意図:	太陽光エネルギーを発電や熱として利用することで化石燃料使用の削減と省エネ意識の高揚を図り、温室効果ガス排出量を削減する。		川路メガソーラーへの視察対応	○		—	—	○	—	○	—	
168	156	環境にやさしい交通社会形成事業	バイオディーゼル燃料車及び電気自動車を公用車として活用し市民へのPRを図っていますが、更なる低炭素車両転換への推進が必要となります。 自転車市民共同利用システムでは、マイカーからの乗り換えを図ることで温室効果ガス排出量の削減を目指すため、自転車の効率的な配置やジテツウ利用者等の増加が必要となります。 併せて、事業を安全かつ安定的に継続するため、自転車の経年劣化に対応した維持管理が必要となります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	市民協働環境部	環境モデル都市推進課		ノーマイカー通勤の推進	○		○	—	○	—	○	—	
	対象:	市民、事業所、行政	「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地球温暖化防止に向けて取り組んでいるノーマイカー一斉行動を支援し、事業所・市民・行政が一体となり、地域ぐるみで温室効果ガスの削減への取組みを行いました。 低炭素な交通手段への転換を目的とした、自転車市民共同利用システムの運営を行い、自転車長期貸出しの利用者増進を図る取組を実施しました。 次世代自動車は、現在の市内に設置されているEV充電器の設置状況調査を行いました。また、EV技術及び開発状況について、引き続き最新の情報収集を行いました。	EV車の活用及び普及	○		○	—	○	—	○	—	
	意図:	ノーマイカー通勤や公共交通の利用により、低炭素な移動手段への転換を推進することで、温室効果ガス排出量を削減する		自転車市民共同利用の運用	○		○	—	○	—	○	—	○
175	381	上水道事業	水道事業は、全般的に専門技術、知識が必要とされる。 職員の退職・人事異動により十分な指示ができなくなる恐れがあるため、後継のできる技術者を途切れることなく確保していく必要がある。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	上下水道局	水道課		建設発生土	○							×	
	対象:	上水道事業		建設廃棄物	○				×		×		
	意図:	飯田市の上水道利用者が安心して水道水を利用できるよう、水道施設の整備をすすめ、適切に施設の維持・管理を行う。		軽油・ガソリンの使用	○		×		×		×		
175	381	上水道事業	豪雨時等に水源の濁度が著しく上昇し、一時的に水道水を作れないことがあります。このような状況をできるだけ回避し、安定した水道水が供給できるように取り組みました。	騒音・振動・排気ガスの発生	○		×						
	上下水道局	水道課		環境に配慮した設計積算、施工監督	○		○○		○	○	○	○	○
	対象:	上水道事業		水道管等の破損・離脱			○	×	×				
	意図:	飯田市の上水道利用者が安心して水道水を利用できるよう、水道施設の整備をすすめ、適切に施設の維持・管理を行う。		建設機械からの油類流出			○	×			×		

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい		
部名	課名	30年度取組													
176	382	鉛製給水管布設替事業	計画的に事業を実施すると共に、他事業との連携により、効率的な事業実施を行い鉛製給水管の解消を図ります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	水道課 対象: 上水道区域内の鉛製給水管 意図: 鉛製給水管を布設替することにより、安全安心な水道水の供給を行う	配水本管から量水器までにある鉛製給水管を、計画的に布設替し、安全安心な水道水の提供を行います。	建設発生土	○						×				
			1.鉛製給水管布設替工事を単独で発注し布設替を実施しました。 2.老朽配水本管の布設替に伴う鉛製給水管の布設替を実施しました。 3.公道分漏水修理工事・宅内改造工事に伴う鉛製給水管の布設替を実施しました。 4.不明管の調査を実施し、鉛管の有無を確認しました。	建設廃棄物	○			×		×		×			
				軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			
				騒音・振動・排気ガスの発生	○			×							
				環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○		
				水道管等の破損・離脱			○	×	×						
				建設機械からの油類流出			○	×		×					
177	383	簡易水道事業	水道事業は、全般的に専門技術、知識が必要とされる。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	水道課 対象: 簡易水道事業 意図: 飯田市の簡易水道利用者が安心して水道水を利用できるよう、水道施設の整備をすすめ、適切に施設の維持・管理を行う。	職員の退職・人事異動により十分な指示ができなくなる恐れがあるため、後継のできる技術者を途切れることなく確保していく必要がある。	建設発生土	○						×				
			南信濃の遠山川右岸側居住区エリアの、押出地区と夜川瀬地区を連絡管で繋ぐことにより、遠山川に架かる2本の水管橋の1本に支障がおきても、断水することなく、安定的な水道水を提供することが可能になりました。	建設廃棄物	○			×		×		×			
				軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			
				騒音・振動・排気ガスの発生	○			×							
				環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○		
				水道管等の破損・離脱			○	×	×						
				建設機械からの油類流出			○	×		×					
178	384	妙琴浄水場更新整備事業	現施設の運転を停止することなく、水道水の供給をしながらの更新であり、機器及び配管の切替方法を十分に検討し、実施における綿密な施行計画と迅速な実施が必要。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	水道課 対象: 妙琴浄水場 意図: 妙琴浄水場の更新整備を行い、水道水の安定供給をし生活・事業基盤の向上を図る	妙琴浄水場更新事業は、第一期工事として平成32年度竣工を目標に浄水池と管理棟の合棟による建設を進めました。	建設発生土	○						×				
				建設廃棄物	○			×		×		×			
				軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			
				騒音・振動・排気ガスの発生	○			×							
				環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○		
				水道管等の破損・離脱			○	×	×						
				建設機械からの油類流出			○	×		×					
179	160	合併処理浄化槽設置整備事業	飯田下伊那地域循環型社会形成推進地域計画に基づき浄化槽設置を進めます。また設置済合併処理浄化槽の適正な維持管理が行われるよう啓発します。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	下水道課 対象: 個別処理区域の住宅・事業所等 意図: 合併処理浄化槽使用による公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全	個別処理区域の合併処理浄化槽設置を促進するため、設置する者に設置費用の一部を補助金として交付しました。	合併処理浄化槽の普及促進	○		○	—	—	○	—	—	○		
			合併処理浄化槽の適正な維持管理が行われるよう点検、啓発を行いました。	適正管理の点検指導	○			○	—	—	○	—	—		
			合併処理浄化槽の清掃に要する経費の一部を清掃補助金として交付し浄化槽の清掃実施を促進しました。												
180	387	下水道施設維持管理事業	平成25年度に下水道整備事業は終了したが、老朽化に伴う更新・改修・維持管理コストの増加が避けられない状況となっています。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	下水道課 対象: 集合処理区域内(公共2処理区、特環2処理区、農集排9処理区、小規模2処理区)の住宅・事業所等の排水 意図: 公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する	少子高齢化社会の進展や人口減少社会を迎える中で世帯数は増加しており、引き続き関係法令の規定に適合する排水設備の設置等適正な管理指導を行います。	適正な維持管理	○		○	—	○	○	○	○			
			・第1次飯田市下水道事業経営計画に基づき、下水道管路施設を適正に維持管理しました。 ・排水設備工事における確認・開始・完了等各種申請に対し関係法令に即した指導・確認・検査を行いました。 ・リニア関連等大型事業に伴う下水道本管・布設替、新設等に対し関係機関と連携し経済的・効率的な計画をしました。	汚水の流出	○		○	×	×	—	×	—	×		
				下水道整備工事の実施	○			×	×	×	—	×	—		
				環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	—	○	—		
				適正な設計確認及び完了検査	○			○	—	—	○	×	○		
				除外施設等の適正な管理の指導	○			○	—	—	○	—	○		
				水洗化の促進	○			○	—	—	○	—	○		
181	388	下水処理施設維持管理事業	処理施設が老朽化していく中で、維持管理業者との更なる連携を強化し、適正な維持管理に努めます。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	下水浄化センター 対象: 下水処理施設 意図: 下水処理場の適切な管理・放流水質基準の遵守	松尾浄化管理センター他維持管理業務委託、農業集落排水処理施設管理業務委託における5か年の長期契約(3年目)を実施し、適切な維持管理を行うことにより、生活環境の向上と河川の水質保全を図りました。	施設・機器の整備	○			○	○	—	○	○	○		
			松尾浄化管理センターでは、消化ガス発電(7基計175kw)を行い、下水道資源の有効活用、二酸化炭素及び電気使用量(発電電力を全量場内で使用)の削減を図っています。	放流水の水質	○			×	×	×	—	×	×	×	○
				産業廃棄物	○			×	×	×	—	×	×	×	○
				一般廃棄物	○			×	×	×	×	×	○		
				薬品の管理	○			○	○	—	—	—	○		
				水質試験廃液	○			×	×	—	×	×	×		
182	389	下水道ストックマネジメント事業	平成27年度の下水道法改正により、下水道施設全体を対象としたストックマネジメント計画の策定が必要となりました。この事業は、維持・修繕及び改築に関する劣化状況の調査や、施設情報のデータベース化、施設不具合による被害規模、リスク評価等を行い、施設ごとの管理、整備目標を設定し、修繕・改築、施設整備を実施するものです。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—			
	上下水道局	下水道課 対象: 下水道施設全体(管路、処理場、マンホールポンプ場) 意図: スtockマネジメント計画(点検・調査等に基づく維持管理計画)を策定し、下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図る。		工事の実施	○			×	×	×	—	×	—		
				環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	—	○	—	○	
				汚水の流出				○	×	×	—	×	—	×	

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	30年度取組											
183	390	下水道長寿命化及び地震対策事業	下水処理、管路施設は老朽化により機能低下が見られるため、改築・更新工事を主体とした整備が課題であり、第1次飯田市下水道事業経営計画と整合させながら、補助事業を取り入れ、施設の長寿命化に取り組むことが必要です。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	上下水道局	下水浄化センター・下水道課		長寿命化(地震)対策工事の実施	○		×	×	×	—	×	—	
	対象:	下水処理施設、管路施設	飯田市公共下水道長寿命化計画、農業集落排水処理施設機能強化事業、下水道総合地震対策計画による長寿命化、耐震化を計画的に実施し、下水処理施設、管路施設の延命化を図りました。	環境に配慮した設計及び現場管理	○		○	○	○	—	○	—	○
	意図:	・公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する ・下水道本管事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る ・処理施設の長寿命化を図り、処理能力を確保する	※松尾浄化管理センターNo.2脱水機・ゲート設備長寿命化及び知久平処理場機能強化はH29-H30年度2か年の債務負担で実施しました。	汚水の流出			○	×	×	—	×	—	×
204	190	森林づくり推進事業	森林整備が遅れ、森林の持つ多様な多面的機能(水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割)が効果的に発揮できない状況が生まれています。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	産業経済部	林務課	林業労働者数の減少、財産区役員の担い手不足、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。健全な森林を育成し、市民の関心を高め、多様な主体による森林づくりを推進していく必要があります。	森林の再造林、下刈り、除伐	○		○	—	○	○	○	○	○
	対象:	民有林及び市有林森林所有者及び市民	森林の持つ多面的機能(水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割)を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林(国有林を除く森林)を対象に、補助金を交付しました。また、豊川水源基金による整備や分収造林契約に基づく森林整備を実施しました。	森林の搬出間伐	○		○	—	○	○	○	○	○
	意図:	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理森林ボランティア等の新たな担い手の確保	森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校を開講し各種講座を実施しました。 森林整備に直結する作業道整備を実施しました。 河川周辺の荒廃した里山を、防災・減災を目的に整備しました。	森林の保育間伐・切捨て間伐	○		○	—	○	○	○	○	○
210	196	林道整備事業	未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を中心に効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を縮減します。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	産業経済部	林務課		公共工事の計画・設計・施工	○		×	×	×	×	—	×	
	対象:	未舗装、未改良部分の林道	森林整備や保全管理上、必要不可欠な林道の開設、改良、舗装工事を行い、木材運搬の効率化や通行の安全確保を図りました。また、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命化と将来の架け替えコストの縮減を図りました。	公共工事の環境配慮設計・施工	○		○	○	○	○	—	○	○
	意図:	開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる		現場での事故防止	○		○	○	○	○	○	○	
215	201	森林公園維持管理事業	高速交通網や交流人口の拡大など、時代の変化に対応した公園の在り方が求められます。今後は、観光と連携したグリーンツーリズムや森林空間を活かした地域振興につなげていく必要があります。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	産業経済部	林務課	指定管理運営委員会に参加し、公園の指定管理について、協議しました。キャンプ場やマレットゴルフ場の柵など利用者が安全に利用できるように、ボランティア団体と協力して整備しました。	廃棄物の発生	○		×	×	—	×	—	—	
	対象:	野底山森林公園		電気の消費	○		×	×					
	意図:	適切に維持管理を行い、利用の拡大を図る		水の消費	○		×						
260	251	土地利用計画推進事業	リニア中央新幹線の開業に向けリニア駅周辺の土地利用・景観育成の検討が必要です。また、交流人口の拡大を目指す中	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	建設部	地域計画課	にあつて、住む人、訪れる人の双方にとって魅力ある地域づくりに向けた、計画的な土地利用と景観・緑の保全・育成を進める必要があります。	適正な土地利用へ誘導	○		○	○	○	○	—	○	
	対象:	飯田市全域	関係するまちづくり委員会と協力し、リニア駅周辺の土地利用、景観に関する検討を行いました。また、これらの検討に基づき、土地利用基本方針(地域土地利用方針を含む。)の変更を行いました。	良好な景観及び緑の育成	○		—	—	○	○○	—	○○	
	意図:	計画に基づく土地利用が行われる	都市計画の決定・変更の状況に応じ、関係する条例・規則の整備を行いました。	開発と周辺の環境及び景観との調整	○		○○	—	—	○	—	○○	○
266	185	土地改良事業	高度成長期に整備した農業用施設の老朽化が進み、農作業に支障をきたすとともに、農住混在化が進んだことにより防災面での住民要望も多くなっています。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	建設部	土木課		公共工事の実施	○		×	×	×	×	×	×	
	対象:	農業従事者、農村居住者	施設の改修及び補修により社会基盤の強化と農地の持続的な活用につなげ、国土保全のための役割を果たしていきます。	環境配慮設計の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
	意図:	農作業の効率化と農地を保全する、農業施設の改修及び補修	地域から多く要望が寄せられている、老朽化が進んだ農道・用排水施設の補修や更新整備を緊急性及び優先順位を考慮し進めました。	環境配慮工事の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
267	240	社会基盤維持管理事業	高度成長期に整備された多くの道路・河川・水路等の施設構造物において、老朽化による経年劣化及び損傷箇所が年々増加しています。緊急性の高い箇所から修繕・補修を行っていますが、すべての対応ができていないため施設の劣化及び損傷が進行しています。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	建設部	土木課	また、舗装補修についても、舗装の供用性能を一定水準に保つためには、ある程度まとまった規模の補修が必要です。	環境配慮設計の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
	対象:	飯田市が管理する道路、河川、水路	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路をパトロール等により早期に見出し補修すると共に、付属施設の維持管理を計画的に行っていく事で効率的、経済的に社会基盤の強化を図ります。	環境配慮工事の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
	意図:	道路、河川、水路の維持管理	また、沿道の支障木等の管理、冬期の除融雪などを適切に実施する事で安全な交通の確保を図ります。	現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×
268	241	防災・安全対策事業	災害時に市道は、緊急輸送路や避難路として利用されますが、未整備区間が多く存在し、計画的な整備が必要です。橋りょうなどの道路構造物についても、定期点検を進め、計画的に長寿命化を図るとともに、耐震整備も必要です。	一般事務	○		—	×	×	—	×	—	
	建設部	土木課		公共工事の実施	○		×	×	×	×	×	×	
	対象:	市道、河川、排水路	道路や河川の危険箇所についても、点検を行い、危険度の高い箇所から順次整備が必要です。また、近年増加している集中豪雨などによる被害に対しても、順次改修要望に対応していく必要があります。	環境配慮設計の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
	意図:	道路、河川、排水路の整備により社会基盤を強化する	防災・安全対策が必要な道路整備、通学路安全点検に基づく危険箇所の整備を進めます。道路施設の定期点検を進めるとともに、橋りょうの長寿命化及び耐震整備を進めます。道路、河川の危険箇所の整備や排水路の整備を進めます。	環境配慮工事の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
				工事現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×
				工事現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	30年度取組											
269	242	道路ネットワーク整備事業	飯田市の道路ネットワークは、国道道を骨格として、それらを結ぶ市道で構成され、特に市道は市民生活に密着した生活道路として利用されていますが、幅員の狭い箇所や線形や勾配の危険な箇所が存在し、通行車両や歩行者の安全確保について多くの改良要望が寄せられています。また、リニア時代に向けて、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を広く市内で享受するため、計画的な整備を行うことにより、安全で効率的な道路ネットワークを構築します。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—
	建設部	土木課		公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×
	対象:	幹線及び一般市道	拡幅等の整備が必要な路線は、地元との調整を図りながら路線の優先順位付けを行い、集中的に事業を執行することで早期に効果が発現できるよう、計画的な道路整備を進めます。また、リニア時代に向けて、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を広く市内で享受するため、計画的な整備を進め安全で効率的な道路ネットワークの構築を目指します。	環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○
	意図:	幹線及び一般市道の整備により、社会基盤を強化		環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○
				工事現場での事故発生				○	×	×	×	×	×
270	252	公園整備事業	飯田市の公園は開設年度が古い公園が多く、施設の老朽化が進んでいます。そのため、施設の更新・修繕が必要な箇所が増えていますが、対応が追いつかない状況です。定期点検や日常点検を実施し、施設の異常箇所の早期発見、迅速な修繕の対応が必要です。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—
	建設部	土木課		公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×
	対象:	市民、公園	また、多くの公園が災害時の避難地として指定されており、安全に避難できる様、施設の更新・修繕が必要です。	環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○
	意図:	誰もが安全・安心で快適に利用できる公園とするための施設改修及び修繕。中心市街地の活性化と賑わい創出につながる公園の再整備と施設の改修。	都市公園長寿命化計画に基づき今宮公園他4公園の遊具の更新を実施しました。また、老朽化に伴う公園施設、9箇所の改修工事を実施しました。 災害時の避難場所となっている中央公園(中央広場)の耐震工事を実施しました。	環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○
				工事現場での事故発生				○	×	×	×	×	×
274	348	災害復旧事業	多くの道路、河川、水路、公園、農業施設等では老朽化による経年劣化及び損傷箇所が急激に増加しています。災害を未然に防ぐため緊急性の高い箇所から改良・改修・修繕・補修等を行っていますが、すべての対応ができていないため、異常な天然現象における災害リスクの解消ができていない状況です。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—
	建設部	土木課		公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×
	対象:	飯田市が管理する道路、河川、水路、公園、農業施設及び個人農地	異常な天然現象(時間雨量20mmを超える降雨量若しくは24時間雨量で80mmを超える降雨量等)により災害が発生した時は、速やかに現地調査、被災状況の把握を行い、早期に復旧工事を行います。	環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○
	意図:	道路、河川、水路、公園、農業施設、農地の災害復旧	30年度は、以下の災害に対する復旧工事等を行いました。 ①30年4月25日 豪雨 ②30年7月5日 豪雨 ③30年8月6日 豪雨 ④30年9月4日 台風21号 ⑤30年9月30日 台風24号	環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○
				工事現場での事故発生				○	×	×	×	×	×
277	244	国県関連事業	三遠南信自動車道飯橋道路2工区及び羽場大瀬木線の供用開始が間近となり、これらに起因する飯田市が施工する関連工事も含めて完了させる必要があります。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—
	建設部	国県関連事業課		公共工事の実施	○			—	—	—	—	—	—
	対象:	三遠南信地域及び近隣町村など広域的な人・物	・市場桜町線関連は、通学路の迂回路として児童の安全対策を図るため、道路改良等を実施しました。 ・三遠南信自動車道飯橋道路2工区の供用開始に向け、天龍峡大橋添架歩廊及び尾林八ノ倉線の事業進捗に努めました。 ・その他、国及び県事業に関連した地元要望の道路改良等を実施しました。	公共工事における環境配慮設計及び実施	○			○	○	○	○	○	○
	意図:	ストック効果を上げるための交通網の整備		現場での事故防止	○			—	—	—	—	—	—
281	375	市立病院介護老人保健施設運営事業	サービス収入の安定的確保のため、入所・通所利用者の安定的確保と老健本来の目的である在宅復帰支援を重点に事業を実施しました。利用者数の確保の点では目標値に到達できませんでしたが、在宅復帰率は6ヶ月平均で30%以上を確保することができ、サービス収入の確保の点では効果がありました。今後も引き続き努力します。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—
	市立病院事務	市立病院介護老人保健施設		施設管理	○			×	×	—	—	—	—
	対象:	入所、短期入所、通所等の利用者	・入所サービスにおいては、算定要件の区分が「加算型」から在宅復帰をより推進する「在宅強化型」老健へ7月に移行し、年度末まで継続する事ができました。また、リハビリテーションの充実や施設内多職種及び市立病院や他事業所との連携強化に取組み、施設入所利用率はほぼ昨年並みとなりました。・通所リハビリテーションでは予防介護にも取組み、要支援者の積極的な受入れを行い目標を達成する事ができました。・地域貢献活動の一環として行っている「認知症カフェ」は毎月1回開催でき、近隣の地域の方を対象とした「認知症サポーター養成講座」も、ゆうゆう主催にて2回開催する事ができました。	地域食材による食事の提供	○			○	×	○	—	—	
	意図:	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供します		廃棄物(感染性含む)の廃棄	○			×	×	×	×	—	—
					太陽光による発電	○			—	—	○	—	○
282	7	広報広聴事業	広報いいだを中心とした各種媒体から発信する情報が、市民にわかりやすく伝わるとともに、マスコミを通じた情報提供を積極的に行い、よりいっそうの情報浸透を図る必要があります。	緑化の推進	○			○	—	○	○	—	○
	市長公室	秘書広報課		フロンへの漏えい				○	×	—	×	—	—
	対象:	全市民	・広報いいだの新しい取り組みとして制作したマンガ調の特集記事が、長野県市町村広報コンクールの広報紙市の部で優秀賞に入賞しました(広報いいだ 6月1日号「図書館へGo!!」) ・制作したテレビ広報が、長野県市町村広報コンクールの広報映像の部で最優秀賞に入賞しました(テレビ広報 11月「飯田型キャリア教育」) ・読者等から応募のあった写真を採用してきた広報いいだの表紙に、7月1日号からはその号の特集内容や、タイムリーなイベントに係る写真等とすることとし、表紙と紙面との整合を図るよう努めました	市民意識の高揚	○			○	○	○	○	○	○
330	294	社会教育運営事務	・教育委員会への共催・後援申請が増加・多様化しているなかで、適正・迅速に決定する必要があります。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—
	教育委員会	生涯学習・スポーツ課											
	対象:	1 社会教育関係団体 2 愛宕蔵	社会教育委員会議を開催し、当市の社会教育についていただいた意見、提言等を参考に施策を遂行しました。 教育委員会共催及び後援依頼の審査、決定によって市民等による教育活動を支援し、振興を図りました。 飯田市連合婦人会の活動を支援し、振興を図りました。 飯田ユネスコ協会の活動を支援し、振興を図りました。 愛宕蔵を適正に維持・管理しました。 社会教育主事講習を職員1名が受講することにより、社会教育主事の増員を図り、より専門性の高い社会教育の推進体制を充実しました。										

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	
部名	課名	30年度取組												
331	296 科学実験教室推進事業	・現在、増加傾向にある小中学校の授業やクラブ等への支援事業についても、将来的には、実験道具の貸出や材料の提供により、各小中学校で教員を中心とした活動になるような働きかけの必要があります。 おもしろ科学工房スタッフにより理科実験ミュージアムを開催しました。おもしろ科学工房スタッフにより出前工房、学校クラブ活動支援、科学実験講座等を行いました。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課	科学実験教室の開催	○			○	—	○	○	○	—	○
	対象:		小、中学校(児童、生徒及び教員)、市民(親、地域の役員等)											
	意図:	児童、生徒が科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。												
332	297 社会教育推進事業	・社会環境が変化するなか、家族が共に過ごす時間を持ち、成長し合うことで、家庭の教育力の向上、子どもの自己肯定感、生きる力を引き続き育むことが必要です。 ・過去の歴史や様々な文化に触れながら、これからの飯田、世界を考える力を養うことが必要です。 人権教育:地区公民館主催の人権教育講座の支援を行い、身近な人権問題への理解・啓発を促しました。家庭教育:「結いの日」啓発放送、リーフレット・啓発チラシの配布、三行詩・ポスターコンクールにより、家庭教育への関心を高めました。青少年:伊勢市との小学生交流会を実施し、児童間の親睦と児童会活動の充実、地域への愛着を深めました。育成センター:例年の街頭啓発の他、店舗等へ子どもを性被害から守るための条例における子どもの深夜外出防止への協力依頼を飯田市PTA連合会と合同で行い、意識向上を図りました。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課											
	対象:		①家庭 ②小・中・高校生及び一般 ③「地域振興の知の拠点」について											
	意図:	①家族が共に時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。 ②明るい社会を維持する。心豊かな人間性を育む。 ③構想を策定する。												
334	299 宇宙教育推進事業	社会教育機関や工業課が行っている事業と連携し、体系的に取り組むことによって事業の相乗効果を高めます。 平成28年度に開始した「飯田・宇宙教育」を、今年度から部局横断的に事業を展開及び推進し、スタンプラリーにより市民等の参加を図りました。その中で、3回目となる「宇宙留学サマーキャンプ2018」を、8月12日～13日(一泊二日)の日程で10名の参加者を対象に実施しました。「ペルセウス座流星群」に焦点をあて、当市の「地育力」を活かし、地域の専門家や美術博物館研究員等による専門性の高い指導、また会場となった遠山郷にある御池山隕石クレーターや天体観測の適地であるしらび高原といった地域資源の活用により、深い学びを重視した体系的な学習プログラムの実証研究・効果検証を行うことができました。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課	宇宙留学サマーキャンプの開催	○			○	—	○	○	○	○	○
	対象:		小学生											
	意図:	宇宙留学サマーキャンプを通じて知的好奇心を育むとともに、社会性、協調性、グローバルな視野や考え方を身に付ける。												
335	300 公民館等耐震化整備事業	・計画の具体化に伴い関係者との円滑な調整が必要です。 「上郷地域の中心部に位置する、学び、まちづくりや防災の拠点としての、自治振興センター及び保健センターも併せた機能を一体的に備えた施設」、「利用者が利用上の利便性や安全性に配慮した地域の拠点として、次代を見据えた施設」を基本方針に、平成28年度から耐震化整備事業を進めてきました。30年度は、4月に旧上郷公民館及び上郷自治振興センターの解体工事を完了、新施設の建築工事に着手し、周辺整備事業として、進入路となる市道の改良と排水対策等の工事も併せて行いました。より利便性の高い施設とし、安全な施工を図るため、上郷地区、施工業者等との協議を行いました。31年3月に竣工、4月から供用開始しました。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課	廃棄物の管理	○			×	×	—	—	—	×	○
	対象:		上郷公民館・上郷自治振興センター											
	意図:	安全性を確保する												
338	303 埋蔵文化財調査事業	・調査にあたっては、現地見学会の開催等により、埋蔵文化財包蔵地の存在と価値を周知する必要があります。 ・蓄積された埋蔵文化財情報を基に、遺跡分布範囲の逐次見直しを行う必要があります。 ・個人住宅建設等に係る調査 3件 (古城城跡、新池遺跡、別府中島遺跡) ・調査報告書作成 1件(下り松遺跡他12遺跡) ・単独事業の調査 2件(南本城城跡、寺所遺跡) ・県事業に係る調査 1件(丸山遺跡・飯田城下町遺跡) ・その他事業に係る調査 5件 (切石遺跡、大休遺跡・羽場権現堂遺跡、大門原遺跡・座光寺原遺跡、上の城窯跡他2遺跡、上の坊遺跡・馬背塚古墳) ・遺跡範囲の見直しとホームページへの掲載	一般事務	○			—	×	×	—	×	—		
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課	歴史的遺産の調査・保存	○			○	—	○	○	—	○	
	対象:		埋蔵文化財包蔵地	重機・発電機の使用	○			×	×	—	×	—	×	○
	意図:	国・県・市・個人及び民間事業者の土木工事等において、十分な保護措置を講じます。												
340	305 恒川遺跡群保存活用事業	平成28・29年度の2か年で史跡整備の基本となる整備基本計画を策定します。また、史跡整備に必要な情報を得るための保存目的調査や指定地の公有地化を計画的に進める必要があります。 恒川官衙遺跡の史跡公園整備に向け、発掘調査・基本設計・用地取得に取り組ましました。 事業地内での発掘調査を2箇所を実施し、正倉院において同じ場所で建替えられた正倉建物を確認しました。 調査中は現場を毎日公開するほか、調査成果を情報紙(恒川News)にまとめ座光寺地区内での組合回覧や現地見学会の開催等を通じて情報発信しました。 恒川清水周辺の発掘調査の成果を報告書としてまとめ、基本設計を進めました。 事業用地については、地権者のご理解をいただき取得を進めました。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—		
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課	史跡の保存目的調査	○			—	—	—	○	—	○	
	対象:		国史跡指定地を含む恒川遺跡群	史跡の公園整備	○			—	—	○	○	—	○	
	意図:	恒川遺跡群の実態解明に向け、調査・研究を進めるとともに、史跡指定地の公有地化の促進及び整備基本計画に基づく整備を実施し、適切に保存活用します。	重機・発電機の使用	○			×	×	—	×	—	×	○	
341	340 スポーツ推進事務	・スポーツ推進委員を中心としたニュースポーツの普及、各種スポーツ事業の実施等により、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化に繋がっている。今後はスポーツを支える人材の発掘・育成に向けて、スポーツ推進委員を含めたスポーツ指導者やボランティア人材の資質向上のための講習会や実践機会を充実させることが必要です。 スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進委員35名を委嘱しました。スポーツ推進委員は、地区公民館等と連携し、体力の維持・向上につながるニュースポーツ等の普及活動やニュースポーツフェスティバル等を行い、市民スポーツの推進、生涯スポーツの普及に取り組ましました。 日本マーチングリーグ連盟会議等、各種事業関連会議に参加し、情報の収集、他団体との連絡調整を行いました。 体育協会と連携し、中央道沿線都市親善スポーツ大会の開催支援、県縦断駅伝大会や市町村対抗駅伝競走大会の飯伊チーム、飯田市チームの支援を行いました。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会		生涯学習・スポーツ課	大会・講座・教室の開催	○			○	×	○	—	○	—	○
	対象:		市民											
	意図:	・スポーツ推進委員の活動を通じて、市民スポーツの振興を図る。・各種スポーツ大会の他団体との共同開催や開催協力を行う。												

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい		
部名	課名	30年度取組													
342	341	スポーツ事業	<p>・スポーツを親しむイベントとして「飯田やまびこマーチ」や「風越登山マラソン大会」を開催しているが、こうしたイベントが日常的な運動習慣のきっかけとなり、スポーツによる健康・体力の向上につながるように、より多くの市民に参加していただくための事業の見直しと、年間を通じた取組みが必要である。</p> <p>・子供の体力・運動能力向上のため、コーディネーショントレーニング等の取組みを継続して進める必要がある。</p> <p>・競技力向上のため、(公財)飯田市体育協会とさらに連携した取組みが必要である。</p> <p>誰でも気軽に始められるウォーキングの普及を図り、生涯スポーツへのきっかけづくりとします。</p> <p>保育園児を対象にしたコーディネーショントレーニングを行い、運動能力向上を図ります。</p> <p>やまびこマーチ、風越登山マラソン、60歳以上ソフトボール大会等を実施することにより、大会を目標にした運動習慣の確立と、地域住民の交流・活力の増進、モチベーションの向上を図ります。</p>	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会	生涯学習・スポーツ課		廃棄物の発生	○			×	×	×	×	—	—	—	○
	対象:	市民		グリーン商品の購入	○			—	○	○	—	○	—	—	○
343	342	体育施設維持管理事業	<p>施設が安全安心で快適に利用できるよう、維持管理を行う必要があります。また各スポーツ施設の設置目的や利用状況等により、指定管理・地元管理・直営管理に区分し、より効果的・効率的で利用しやすい管理運営を進めていく必要があります。</p> <p>・社会体育施設及び県営飯田運動公園(野球場、多目的運動場、弓道場)を含め44施設が常に安全快適に利用できるよう維持管理を行いました。</p> <p>・総合運動場は平成30年4月から民間の持つ専門性やノウハウを活用し、利用者の利便性や安全性の向上、管理運営の効率化のため指定管理制度を導入し運用を開始しました。</p>	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会	生涯学習・スポーツ課		産業廃棄物置き場の管理	○			×	×	—	—	—	—	—	○
	対象:	社会体育施設(施設数:44)		灯油の消費	○			×	—	×	—	×	—	—	○
344	343	体育施設整備事業	<p>スポーツ施設は、設置後30年以上を経過する施設が全体の6割を占めており改修・修繕を必要とするものが多くなっています。利用者のニーズに配慮しながら、安全で良好な施設環境の維持に努める必要があります。</p> <p>・社会体育施設(体育館、武道館、弓道場、運動場、野球場、アクアパーク、市民プール、B&amp;G海洋センター、テニスコート、研修センター等)の改善・改修、備品の修繕、設置等を実施しました。</p> <p>・主要な体育施設である上郷体育館女子トイレの洋式化、バレーボール支柱用床金具の設置等を実施しました。</p>	ガスの消費	○			×	—	×	—	×	—	○	
	教育委員会	生涯学習・スポーツ課		電気の消費	○			×	—	×	—	×	—	—	○
	対象:	施設数:(施設44)		水の消費	○			×	—	—	×	×	—	—	○
345	344	社会体育学校開放事業	<p>各地区で地元の学校体育施設が活用され、コミュニティスポーツが活発に行われるよう、利用調整と施設の適正管理を図る必要があります。</p> <p>・学校体育施設を地域に開放するため、良好な環境で使用されるよう維持管理を行いました。</p> <p>・学校開放施設の運用にあたり各公民館と連携を行い、利用調整と施設の適正管理を図りました。</p> <p>(電気・水道 消耗品 浄化槽点検等)</p>	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会	生涯学習・スポーツ課		電気の消費	○			×	—	×	—	×	—	—	○
	対象:	学校開放施設(体育館・校庭・武道場)の数:(施設56)													
346	345	社会体育学校開放施設整備事業	<p>各地区で地元の学校体育施設が活用され、コミュニティスポーツが活発に行われるよう、施設整備をする必要があります。</p> <p>学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲で、社会体育の利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図りました。</p> <p>各学校の照明機器及びスポーツ器具等の備品整備を行い、施設の充実を図りました。</p> <p>(上郷小学校体育館・飯田西中学校グラウンド・丸山小学校グラウンド、松尾小学校グラウンド・座光寺小学校体育館・浜井場小学校体育館)</p>	一般事務	○			—	×	×	—	×	—	○	
	教育委員会	生涯学習・スポーツ課													
	対象:	学校開放施設(体育館・校庭・武道場)の数:(施設56)													
348	306	公民館維持管理事業	<p>築30年を超える施設が多く、老朽化に伴って改修修繕の必要箇所が年々増加しています。</p> <p>快適な環境を提供するためにエアコンを整備しているが、それに伴って光熱水費が増大しています。</p> <p>・21施設の貸館業務を行いました。</p> <p>・施設設備の適切な維持管理を行いました。</p> <p>・必要な箇所については、施設設備の改修を行いました。</p>	電気の消費	○			×	—	×	—	×	—		
	教育委員会	公民館		水の消費	○			×	—	×	—	—	—	—	
	対象:	公民館施設及びその利用者		ガスの消費	○			×	—	×	—	×	—	—	
363	321	勤労青少年ホーム運営事業	<p>利用者数等が減少傾向にあります。体育協会との合同事務所となっているため、スポーツ面で青少年のニーズに沿った新規事業を開拓していけるよう取り組んでいく必要があります。ニート・引きこもりの青少年を対象とした若者の居場所づくりなどの新たな機能を付加した事業を展開していく必要があります。指定管理を含めた今後の施設のあり方について、検討を進める必要があります。</p> <p>平成30年度から指定管理者による施設運営を開始し、サービスの拡充、自主事業の実施に取り組みました。</p> <p>・使用申込受付時間の拡充</p> <p>・利用者向けフリーWiFiの設置</p> <p>・ワールドカップパブリックビューイング など</p>	灯油の消費	○			×	—	×	—	×	—	○	
	教育委員会	公民館		おひさま発電所の設置	○			○	—	○	○	—	—	—	
	対象:	勤労青少年ホーム利用対象者		灯油保管施設の維持管理	○			×	—	—	—	×	—	—	
364	333	文化会館等管理運営事業	<p>飯田市公共施設マネジメントの基本的な考え方にに基づき、施設の整備方針をふまえた計画的な改修を進めます。</p> <p>日常的な維持管理、定期点検を実施し、安全・安心・快適に施設を利用できるようにします。</p> <p>・文化会館を安全、安心、快適に利用できるよう日常的な維持管理、点検を実施しました。</p> <p>・大きな施設修繕として、ホール客席及び会館棟の屋上防水工事を実施しました。</p> <p>・文化会館、人形劇場、市公民館、県公民館の4つのホールを適切に利用できるよう、ホール業務を専門家に委託しました。</p>	地震火災等の発生	○			○	×	×	—	—	—		
	教育委員会	文化会館		一般事務	○			—	×	×	—	×	—	—	
	対象:	市民		施設管理事務	○			×	—	×	×	—	×	—	○
364	333	文化会館等管理運営事業	<p>飯田市公共施設マネジメントの基本的な考え方にに基づき、施設の整備方針をふまえた計画的な改修を進めます。</p> <p>日常的な維持管理、定期点検を実施し、安全・安心・快適に施設を利用できるようにします。</p> <p>・文化会館を安全、安心、快適に利用できるよう日常的な維持管理、点検を実施しました。</p> <p>・大きな施設修繕として、ホール客席及び会館棟の屋上防水工事を実施しました。</p> <p>・文化会館、人形劇場、市公民館、県公民館の4つのホールを適切に利用できるよう、ホール業務を専門家に委託しました。</p>	グリーンカーテンの設置	○			—	—	○	—	○	—		
	意図:	文化会館、人形劇場を安定的に安全・快適な環境で利用できるようにする。		施設整備・保守点検	○			×	×	×	—	×	—	—	
				地震等による火災の発生	○			○	×	—	—	—	×		

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	
部名	課名	30年度取組												
339	歴史研究所事業	地域に残る歴史資料は市民にとってかけがえのない文化財産ですが、その多くが時間の経過と共に失われていく危機にあります。これらを調査・収集・整理・保存・公開し、市民や研究者等が活用できる環境を整え、飯田の魅力のひとつとして大切に継承していく必要があります。また、教育事業や刊行物の出版等を通じて広く市民に還元し、人材育成や地育力を高める活動を継続していくことも大切です。情報の公開、活用に向けたシステムの整備が求められています。	一般事務	○			—	×	×	—	×	—		
	教育委員会		歴史研究所	紙の消費	○			×	×	×	×	×	×	
	対象:		①市民 ②飯田・下伊那の文書、画像資料、歴史的建造物・景観等の史資料 ③歴史研究に携わる人又は興味がある人	ガソリンの消費	○			×	×	×	×	×	×	
	意図:		①飯田・下伊那の歴史への関心、理解を高める ②収集、調査研究、保存、また聞き取り調査等で地域の歴史文化を解明 ③支援、育成	グリーン商品の購入	○			○	○	○	○	○	○	
				各研究員が基礎研究、共同研究や古文書、旧村役場文書などの調査、保存を実施しました。調査研究成果の市民への還元を、地域史研究集会(156名)、地域史講座(5回141名)の開催や「歴史研究所年報16」「飯田・下伊那の歴史と景観」等の刊行及び学校等公的機関への寄贈、一般販売を通じて実施しました。地域史講座では、実際に川路地区や座光寺地区で行った史料調査に基づいた報告を行いました。また、地域の学びの支援として、アカデミア(4回165名)、歴研ゼミ(88回460名)、学校等への出前講座(12回505名)を実施しました。研究人材育成として新たに市民研究員1名の認定し、候補者1名の応募を受け研究指導を行いました。	歴史資料の保存・活用	○			○	○	○	—	○	—